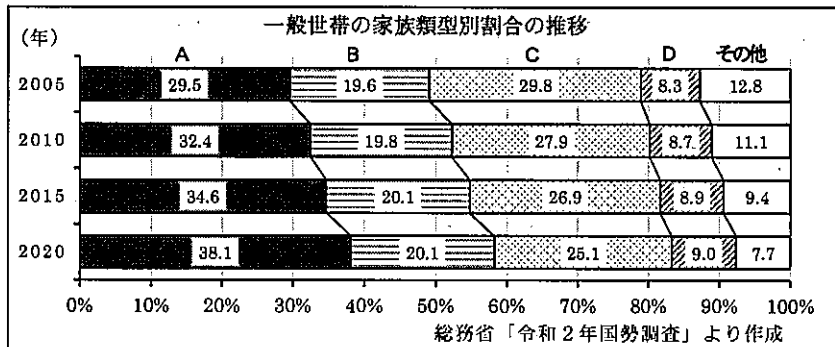


答はすべて解答用紙に記入せよ。

1 家族・家庭と社会について、後の問に答えよ。

問 1 次の図のグラフは一般世帯の家族類型別割合の推移を示している。AとCにあてはまる世帯を次のア～エから選び、記号で答えよ。



図

ア 夫婦と子どもからなる世帯 イ ひとり親と子どもからなる世帯 ウ 夫婦のみの世帯 エ 単独世帯

問 2 0 から 1 までの値をとり、0 に近いほど所得格差が小さく、1 に近いほど所得格差が大きいくことを示す、所得の均等度を表す指標を何というか、答えよ。

問 3 日本国憲法の第 25 条に規定する理念に基づき、国が生活に困窮するすべての国民に対し、その困窮の程度に応じ、必要な保護を行い、その最低限度の生活を保障するとともに、その自立を助長することを目的とする法律を何というか、答えよ。

問 4 全ての人々を孤独や孤立、排除や摩擦から援護し、健康で文化的な生活の実現につなげるよう、社会の構成員として包み支え合うことを何というか、答えよ。

2 消費生活について、後の問に答えよ。

問 1 次の表は、民間会社に勤める甲さんの給与明細の一部である。各問に答えよ。

表

番号 1 2 3		氏名 甲						単位：円
支給額	基本給	家族手当	住宅手当	勤務地手当	通勤手当	時間外手当	総支給額	
	189,740	0	19,000	19,340	18,850	15,210	262,140	
控除額	健康保険料	(A) 年金保険料	雇用保険料	介護保険料	所得税	住民税	控除額合計	
	5,278	12,525	1,218	0	6,190	15,700	40,911	

(1) 空欄 A について、適する年金保険の名称を答えよ。

(2) 前年の所得に応じて支払う税金はどれか、表中の語句から答えよ。

(3) 実収入が勤め先収入のみの場合、可処分所得の金額を答えよ。

問 2 家計資産の形成において、金融商品を選択する場合、三つの特性を踏まえて検討する必要がある。その特性について、空欄 B、C に適する語句を答えよ。

- ・ 収益性：利回りのよさ
- ・ (B) 性：元本の保証の度合い
- ・ (C) 性：預金期間などが固定されずに容易に現金化できる度合い

問 3 次の文章は、ある金融商品の特徴を説明したものである。該当する金融商品の名称を答えよ。

預けた資金を専門家が運用方針に従い株式や債券などに運用し、その成果を還元されるものである。利益がある場合もあるが、損をしてしまう可能性もある。

問 4 17 歳の高校生が、10 万円の化粧品セットを契約した。後日、保護者に気づかれて、契約の取消を申し出たところ、一部使用しており、クーリング・オフの適用期間も過ぎていたが、取り消すことができた。取消ができた理由と、根拠となる権利を答えよ。

3 高齢者について、後の問に答えよ。

問 1 健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間を何というか、答えよ。

問 2 流動性知能に対して、技術や経験をもとに物事を解決する能力で、年齢を重ねてもあまり低下しないとされる知能を何というか、答えよ。

問 3 加齢により心身が衰えた状態で、健康な状態と要介護状態の中間の段階のことを何というか、答えよ。